



2024年3月8日
株式会社 阿波銀行

株式会社日本興産の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社日本興産（代表取締役 浅田 昌浩、本社：徳島県小松島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|----------------------|
| 企業名 | 株式会社日本興産 |
| 所在地 | 徳島県小松島市中田町東山 66 番地 5 |
| 代表者 | 浅田 昌浩 |
| 業種 | 電気業 |
| 設立 | 2013 年 11 月 22 日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



株式会社日本興産 代表取締役 浅田 昌浩

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール |
|----------|----------------------|---|--------------------------------|----------|
| 社会・経済 | 職場の安全衛生の向上 | 労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。 | ① 安全衛生パトロールの実施 | |
| | | | ② 1ヶ月に2日以上実施 | |
| 環境・経済 | 移動・輸送における環境配慮の推進 | 社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。 | ① ハイブリッドカー・電気自動車・燃料電池車（FCV）の導入 | |
| | | | ② 2029年度までに導入率30% | |
| 環境・社会・経済 | 災害・事故事業リスクの未然防止 | 災害や事故等の有事においても、事業を復旧・継続するため、対応し得る万全の準備を行います。 | ① 食糧・飲料水の備蓄 | |
| | | | ② 2025年度までに全社員分を備蓄完了 | |
| 環境・社会 | 美しい海岸・海洋環境を次世代へと繋ぐ活動 | エコバック、マイボトル等の使用等、自然環境に配慮したライフスタイルの実践、海岸・河川の清掃・美化活動に取組みます。 | ① 海岸・河川の清掃・美化活動への参加 | |
| | | | ② 月1回全従業員で参加 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。